



清新二中だより

本校教育目標

- 1 豊かな心で、互いに敬愛できる人（敬愛）
- 2 進んで学び、深く考える人（知性）
- 3 健康で明るく、自ら鍛える人（健康）
- 4 責任を重んじ、勤労を尊ぶ人（責任）
- 5 礼儀を重んじ、他とよい関係を築く人（礼節）

卒業

校長 白石 亨

3月の学校からは様々な歌声が響いてくるが、どこか物悲しく聴こえてくる。

そう、卒業式に向けてのお別れの歌声が多いからかも知れない。いよいよ3年生の卒業式が近づいている。改めて振り返ってみると、3年生の皆さんが清新第二中学校の三年間で心身ともに大きく成長してくれたことが何よりも嬉しく感じられる。特にこの一年間は本校の最上学年としての力を遺憾なく発揮し、様々な場面・機会において3年生の活躍を目にすることができた。

特に思い出深いのは「けやき祭・合唱コンクール」での頑張りであろうか。

3年生は課題曲「あなたへ ～旅立ちに寄せるメッセージ～」、A組自由曲「夜明けから日暮れまで」、B組自由曲「手紙 ～拝啓 十五の君へ～」を熱唱してくれた。3年生にとっては最後の合唱コンクール。その熱い思いを胸に秘めて、全力で練習に取り組んでくれた。練習の中では、担当パートごとに集まってCDデッキから流れる曲に合わせて繰り返し歌い込んでいた姿が印象深い。綺麗なハーモニーが響くと思わず仲間と一緒に笑顔がこぼれる。さらに良くしようと譜面を持ち寄り車座に座り込み、優しく歌うところ、強めに歌うところなど、仲間全員で意見を述べ合い、曲の意味合いを十分に咀嚼して譜面に書き込んでいた。少しでもよりよい歌にしようとする真摯な姿があった。合唱は心を合わせて歌うことが何よりも大切なのだ。

だが「クラスがひとつになる！」との言葉はよく使われるが、その実際はなかなか難しい。

そんな中でも、ピアノ伴奏者は長い時間をかけて黙々と鍵盤に立ち向かっていた。指揮者は全員の目を見て全員の心に届くようにと、気持ちを込めて指揮を振っていた。3年生の誰もがその気持ちをしっかりと受け止め、同じ空間で、同じ時間を過ごし、同じ思いをもち続けることで、確実に何かが変わっていく。仲間と共に過ごす時間が長ければ長い分だけ確実に変わっていく。一人ひとりの思いや気持ちがクラス全体の姿を変えていくのだ。3年生ならではの優しさが一つに纏まり、素敵で素敵な歌声を創り上げてくれたのだと思う。

その折々に活躍した3年生。運動会、修学旅行等の学校行事でも大変活躍してくれた。

また昨年11月、12月には、3年生の皆さんとは高校入試の面接練習をとおして様々な事を話す機会がもてたが、皆さんが抱いている将来への夢の一端を知ることができた。「プロのスポーツ選手になりたい」「アニメーションが好きなので漫画関係の仕事に就きたい」「コンピュータのプログラマーになりたい」等、その内容は様々だったが一人ひとりが自分の夢を抱き、その実現に向けて頑張っているという気持ちや姿勢が強く感じられ、とても嬉しく感じられた。

自分の夢を実現させることは決して容易なことではない。義務教育を終えた今後こそ、本当の意味での勝負の時を迎えるのだと思う。「夢に向かってチャレンジすること」「失敗を恐れずに前進すること」等は、若者だけが持ち得る特権なのだ。この特権を最大限に生かしてもらいたい。

3年生諸君が清新第二中学校の三年間で育んだ力を発揮し、新たなステージで一層活躍してくれることを心から願う。そう、桜舞う青空を、凜とした顔つきで見上げている卒業生の姿が目には浮かんでいる。